

いつでも、どれでも、なに色でも

FlexAble 2.0 抗体標識キット

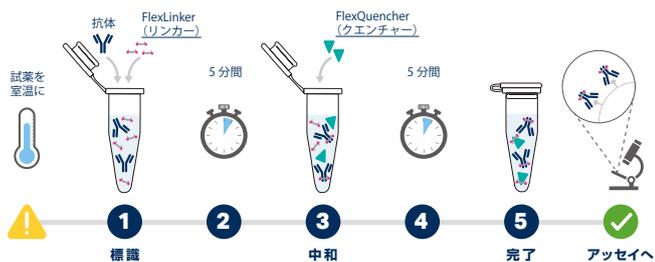
フレクサブル・ツール



NEW 大好評！フレクサブル抗体標識キットの「バージョンアップ」品が新登場です。

プロトコールはそのまま

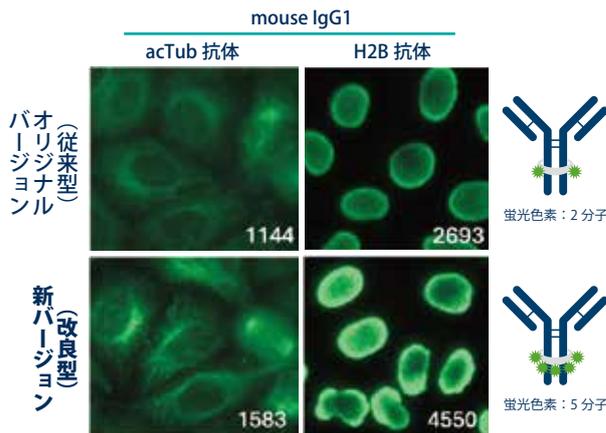
- 抗体の濃縮・バッファの置換等の事前操作不要
- 「標識」と「中和」の10分間ラベリング！



- 1 2 一次抗体 0.5 μg (1 rxn) を標識するために、リンカー 1 μL を添加し、バッファで全量を 8 μL にして混和後、5 分間インキュベートします。
- 3 4 遊離のリンカーを中和するために、クエンチャー 2 μL を添加し、再度 5 分間インキュベートします。
- 5 抗体標識操作は完了です。目的のアッセイにご使用ください。

シグナル強度が向上

- リンカーあたりの蛍光色素数が 2 分子から 5 分子に増大！
- 新バージョンは優れたシグナル強度を発揮（下図）



上：従来型キット (品番：KFA021)
下：改良型キット (品番：KFA521)
(画像記載の各数値は平均蛍光強度を示します)

多重染色に便利

「同一免疫動物」由来の一次抗体でマルチプレックス化を実現！

■ マウス抗体 × 4 種類の同時染色

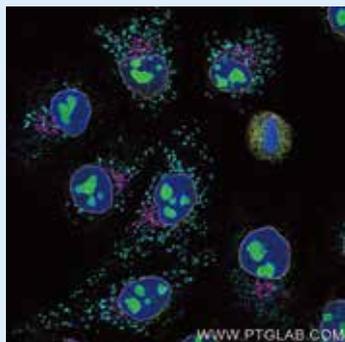


図. B23 (緑)、Lamin B1 (黄)、Gorasp2 (マゼンタ)、HSP60 (シアン)、細胞核 (青) の染色像
PFA 固定 HeLa 細胞の免疫蛍光染色。
緑：FlexAble 2.0 CoraLite® Plus 488 Kit (品番：KFA521) で標識した B23 抗体 (品番：60096-1-Ig)。黄色：FlexAble 2.0 CoraLite® Plus 555 Kit (品番：KFA522) で標識した Lamin B1 抗体 (品番：66095-1-Ig)。マゼンタ：FlexAble 2.0 CoraLite® Plus 647 Kit (品番：KFA523) で標識した Gorasp2 抗体 (品番：66627-1-Ig)。シアン：FlexAble 2.0 CoraLite® Plus 750 Kit (品番：KFA524) で標識した HSP60 抗体 (品番：66041-1-Ig)。青：DAPI で染色した細胞核。

■ ウサギ抗体 × 4 種類の同時染色

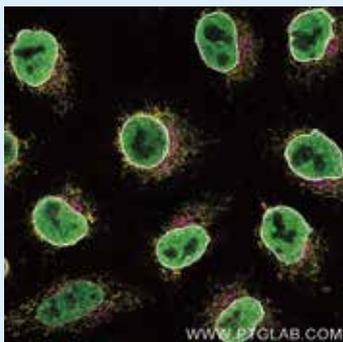


図.TDP-43 (緑)、COXIV (黄)、GM130 (マゼンタ)、Lamin B1 (灰色) の染色像
PFA 固定 HeLa 細胞の免疫蛍光染色。
緑：FlexAble 2.0 CoraLite® Plus 488 Kit (品番：KFA501) で標識した TDP-43 抗体 (品番：10782-2-AP)。黄色：FlexAble 2.0 CoraLite® Plus 555 Kit (品番：KFA502) で標識した COXIV 抗体 (品番：11242-1-AP)。マゼンタ：CoraLite® Plus 647 標識二次抗体 (品番：RGAR005) で検出した GM130 抗体 (品番：11308-1-AP)。灰色：FlexAble 2.0 CoraLite® Plus 750 Kit (品番：KFA504) で標識した Lamin B1 抗体 (品番：12987-1-AP)。

二次抗体との同時染色もできます！

「FlexAble 2.0 抗体標識キット」と「二次抗体」の検出系を組み合わせることも可能です。

[詳細は裏面 FAQ へ](#)

掲載の図は、デジタル撮像後に蛍光検出結果を疑似カラーで表現しています。

セールス / テクニカルサポート



国内販売

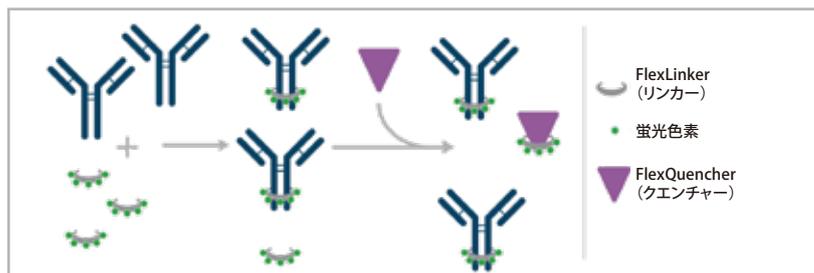


フレクサブル

Antibodies | ELISA kits | Proteins

フレクサブルの原理

FlexAble 2.0 抗体標識キットは、高い親和性を示す“非”共有結合性の『FlexLinker (リンカー)』を用いて抗体を標識します。FlexLinker は、抗体と数分以内で強く結合し、強固な結合を維持します。抗体と結合しなかった FlexLinker は『FlexQuencher (クエンチャー)』を添加することで無効化 (中和) されます。



共有結合性のランダムな標識法とは異なり、免疫グロブリン (Ig) の Fc 領域特異的であるため、抗原結合部位に干渉せず、一次抗体の機能性を維持した状態で均一に標識します。

よくある質問 FAQ

Q キット構成を教えてください。

A リンカー、クエンチャー、バッファの3点が含まれます。包装サイズ別の構成と容量は右表を参照してください。
 (*1 rxn: リンカー 1 μL で抗体 0.5 μg を標識する反応系です)

構成成分/包装サイズ	10 rxn	50 rxn	200 rxn
FlexLinker (リンカー)	10 μL	50 μL	200 μL
FlexQuencher (クエンチャー)	20 μL	100 μL	400 μL
FlexBuffer (バッファ)	100 μL	500 μL	2000 μL

Q 二次抗体と FlexAble 2.0 を併用して多重染色を実施できますか？

A はい、可能です。二次抗体で検出する一次抗体 (A) と FlexAble 2.0 で標識する一次抗体 (B) の免疫動物種を確認し、右記の手順に従ってください。

発現レベルが低いタンパク質に対しては、シグナルの増幅能がより高い、二次抗体を用いた検出系を優先的に使用することを推奨いたします。

(1) 免疫動物種が異なる場合

- ① 未標識一次抗体 (A) と FlexAble 2.0 標識済み一次抗体 (B) を同時に添加します。
- ② サンプルに二次抗体を添加しインキュベートしてください。

(2) 免疫動物種が同一の場合

- ① はじめに未標識の一次抗体 (A) を添加後、二次抗体とインキュベートします。
- ② サンプルを十分に洗浄し、次のステップで非特異的な交差反応を生じないように、残存する二次抗体を最小限に抑えます。
- ③ FlexAble 2.0 標識済み一次抗体 (B) を添加しインキュベートしてください。

FlexAble 2.0 抗体標識キットラインナップ

標識 ^{*1} (蛍光色素)	励起 / 蛍光波長 (Ex/Em)	対象アイソタイプ / 品番					ラット ^{*2} Kappa Light Chain	希望販売価格 / 包装
		ウサギ IgG	マウス IgG1	マウス IgG2a	マウス IgG2b	ヒト IgG		
CoraLite [®] Plus 405	399 nm/422 nm	KFA506	KFA526	KFA546	KFA566	KFA608	—	¥24,000/10 rxn
FITC Plus	495 nm/524 nm	KFA508	KFA528	KFA548	KFA568	KFA609	KFA626	
CoraLite [®] Plus 488	493 nm/522 nm	KFA501	KFA521	KFA541	KFA561	KFA604	KFA621	¥105,000/50 rxn
CoraLite [®] Plus 555	554 nm/570 nm	KFA502	KFA522	KFA542	KFA562	KFA605	KFA622	
CoraLite [®] Plus 594	588 nm/604 nm	KFA509	KFA529	KFA549	KFA569	KFA612	—	¥214,000/200 rxn
CoraLite [®] Plus 647	654 nm/674 nm	KFA503	KFA523	KFA543	KFA563	KFA606	KFA623	
CoraLite [®] Plus 750	755 nm/780 nm	KFA504	KFA524	KFA544	KFA564	KFA607	—	

*1: 蛍光色素の他、HRPまたはビオチン標識キット (従来型) の取り扱いもあります。

*2: ラット用 FlexLinker は、抗体重鎖 (Fc 領域) ではなく抗体軽鎖 (κ 鎖) に特異的に結合します。

Proteintech Group, Inc.

メーカー略号: PGI

お見積り・在庫照会・ご注文はお近くの販売代理店へ

取扱店

お願い / 注意事項 記載の社名・商品名等の名称は、弊社または各社の商標または登録商標です。

(希望販売価格) 記載の希望販売価格は 2025 年 4 月 1 日現在の価格で、予告なく改定される場合があります。また、「希望販売価格」「キャンペーン中の参考価格」は参考価格であり、販売店様からの実際の販売価格ではございません。ご注文の際には販売店様へご確認くださいませ。表示価格に消費税は含まれておりません。

(使用範囲) 記載の商品およびサービスは全て、「研究用」です。人や動物の医療用・臨床診断用・食品用等としては使用しないよう、十分ご注意ください。

<https://www.cosmobio.co.jp/>



人と科学のステキな未来へ

コスモ・バイオ株式会社

- 商品の価格・在庫・納期に関するお問い合わせ —
 TEL: 03-5632-9630 (受付時間 9:00 ~ 17:30)
 FAX: 03-5632-9623
- 商品に関するお問い合わせ —
 TEL: 03-5632-9610 (受付時間 9:00 ~ 17:30)
 FAX: 03-5632-9619

本社所在地 〒135-0016 東京都江東区東陽 2-2-20 東陽駅前ビル